



令和6年度千曲市スポーツ少年団

最終版

第22回 秋季野球大会要項

1. 目的 各単位団が一堂に会し、交流活動の促進をするとともに、健全なスポーツの振興と相互の親睦を図る。
2. 主催 千曲市スポーツ少年団
3. 共催 千曲市教育委員会・(特非) 千曲市スポーツ協会
4. 主管 千曲市スポーツ少年団指導者協議会
5. 期日 第1日目
・ 11月9日(土) 午前9時00分 試合開始予定 (開会式は行わない)
※30分前集合
《予備日: 11月10日(日)》
6. 会場 県民グラウンド (戸倉グラウンドA・B)
7. チーム編成
〔Aブロック…主力選手によるチーム編成〕
〔Bブロック…他の選手によるチーム編成(6年生除く)〕
8. 試合方法 (野球)
 - ・ トーナメント方式とする。
 - ・ 試合は5回までとし、70分経過後は次の回に入らない。ただし、決勝戦に関しては6回として、試合時間を80分とする。
 - ・ 同一ピッチャーは同日中に1人、5、6年生は70球、4年生以下は60球を超えて投球することはできない。
 - ・ 同点の場合は次のイニング以降、次の方法により勝敗を決する。
軟式野球
1アウト、走者2・3塁を設定し再開。(打順は前回から継続、走者は、前回最後のバッターを2塁、その前を3塁に置く)
<例: 1番打者から始める場合、9番(2塁)・8番(3塁)を走者とし、1番打者から始める。>
 - ・ 投手板から本塁までの距離について、5・6年生は16m。4年生以下は14mを可とする。
9. 競技規則
 - (1) 「公認野球規則及び全日本野球連盟競技者必携」を適用する。また、各グラウンドにおいては、特別ルールを採用する場合もある。
 - (2) 使用球は、野球=J公認球とする。
 - (3) ベンチは、組み合わせ番号の若いチームが1塁側とする。
 - (4) ファウルボールは、攻守に関係なくベンチが責任を持って拾う。
 - (5) 打者・次打者・走者・捕手・ベースコーチはヘルメットを着用し、捕手はマスク・プロテクター・レガース・(ファウルカップ)を着用する。
 - (6) ベンチ内は監督1人、コーチ2人以内、スコアラー1人、選手(人数制限なし)のみとする。(ユニフォームを着用する場合は基本的に、同色・同形・同意匠とし、着用しない場合は本部で用意する名札カードを身に着ける。ただし、複数の団が合同で出場する場合は、複数のユニフォームも可とする。)
 - (7) ベースコーチは団員であること。

- (8) 各チーム最初の試合前のみ5分間のノックを行えることとする。
- (9) ホームランラインを直接超えた場合はホームラン、それ以外の場合はエンタイトル2ベースとする。
- (10) 試合中の抗議は一切認めない。ただし監督のみプレーに関する質問はできる。
- (11) メンバー表の交換は、各試合の前（第1試合は試合開始予定30分前、第2試合からは前の試合2イニング終了時）に各グラウンド記録席にて行う。

10. 表彰

各ブロックとも1位～3位まで表彰する。

11. 運営

- (1) 参加チーム及び事務局で行う。
- (2) 審判は、各団に割り当てとする。（後日、組合せ表と一緒に送付）ただし、Aブロックの主審については、事務局で手配する。
- (3) ボールボーイを試合チームから1名ずつ選任しバックネット脇に配置する。（交代可）
- (4) 試合オーダー表は、3部作成し2部提出する。（相手チーム・本部用）
（先攻・後攻を決める際にキャプテンが持参する）

12. その他

- ・ゴミ等の始末は各団責任を持って行う。
- ・前回優勝、準優勝した団は優勝旗とカップを当日事務局へ渡す。
- ・試合終了後、グラウンドを使用したチームがグラウンド整備をする。
- ・雨天順延の場合は午前6時半までに各団会長又は指導者協議会理事へ連絡する。
- ・睡眠不足や欠食等が体調不良の原因になるので、大会参加にあたっては団員の健康管理に十分留意すること。
- ・大会中の怪我については必ず事務局に連絡すること。また、団員及び指導者は必ずスポーツ傷害保険に加入すること。
（Bブロックについては、事務局で「投球表示板・カウンター」、「審判用セット」を用意します。）
- ・監督会議は行わない予定ですが、必要と認めた時は急遽開催するかもしれません。

13. 問い合わせ先

千曲市スポーツ少年団事務局（更埴体育館 千曲市スポーツ協会）

電話：026-273-0010 FAX：026-273-5123

〈当日の連絡先〉

中川：090-8328-9621